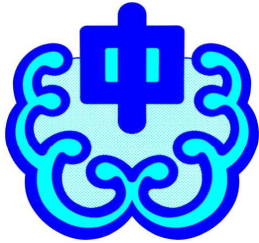


# 浪江中だより

平成30年度 第8号  
2018. 6. 1  
文責 校長 嶋原 俊洋



## 教育目標

- 自ら探求的に学ぶ生徒
- 礼儀正しく、節度ある生活をする生徒
- 健康で、安全な生活をする生徒
- ◇ 自分に自信を持ち、行動できる生徒（今年度重点目標）



## ネットでつながる社会だからこそ

先日、福島県警スクールサポーター（学校安全相談員）の方が来校され、こんな話をしてくれました。

「ここ数年、中高生が事件に巻き込まれるケースのほとんどは、スマートフォン（SNS）が関係しているんですよ。身近にいて直接会話する友達の数の、何十倍という見たこともないトモダチとつながっている生徒もいます。そして、安易に会う約束をして、犯罪に遭遇してしまうんですね。“現代ならではの犯罪”と言えるでしょうね。さらに、ご両親も我が子がどのようなスマホの使い方をしているかわからない、それどころか親がスマホ中毒になっている、なんていう家庭も結構あるんですよ。ぜひ、今話題の※『ママのスマホになりたい』という絵本を読んで、スマホとの付き合い方を考えてほしいですね。」と。

今、大きな社会問題になっている「ネット依存」。女子はSNS依存（きずな依存）、男子はゲーム依存が多いと言われています。過剰なスマホ利用のその先には、危険や落とし穴が潜んでいることは誰もが知っていることです。



大切なのは、**自制する（セルフコントロール）力**をどれだけ備えているかです。目先の欲求だけでなく、将来の目標を達成するために、いかに自制心を持って振る舞えるかが大切なのです。ご家庭でもスマホとの付き合い方について話題にしてみてください。

※『ママのスマホになりたい』は、シンガポールの少年が書いた作文をもとに作られた絵本です。少年がどのような作文を書いたのか紹介します。

ぼくの願いはスマートフォンになることです。なぜなら、ぼくのママとパパはスマートフォンがとても大好きだから。

ママとパパはスマートフォンばかりを気にして、ときどきぼくのことを忘れてしまいます。

ぼくのパパが仕事から帰ってきたとき、パパはぼくではなく、スマートフォンと時間を過ごします。ママとパパが大事な仕事をしていてスマートフォンが鳴り出したら、1回鳴っただけでもすぐに電話にでます。ぼくが泣いているときでさえ…そんな風にはしてくれないのに。

ママとパパはぼくとではなく、スマートフォンでゲームをして遊びます。スマートフォンで誰かと話しているとき、ぼくが何か伝えたいことがあっても、ぼくの話聞いてくれません。

だからぼくの願いはスマートフォンになることです。

